

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	4
サポートクラス	レンジャー	Lv.1:	ニンジャ	性別	男
称号クラス				年齢	
種族	グライアイ			境遇	出世
出自 (効果)	神官			目標	戦い好き

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	15	14	15	8	9	8	7
ボーナス	5	4	5	2	3	2	2
クラス修正	1	2	1	0	2	0	0
他修正							
能力値	6	6	6	2	5	2	2

HP	55
MP	47
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	セルフボウ	30m	-2	9	0	0	0	-3	0
左手									
頭部	ドミノ					2			
胴部	パッドェッドアーマー					7			-1
補助	クイックバンド							2	1
装身具	手入れ道具			1					
能力値				6	0	6	0	2	11
スキル			1	1					
その他									
総計(右)				5	11				
総計(左)						6	9	2	10
総計(両)									m
ダイス数				2 d	2 d	2 d			

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	6			6	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
ハイMPポーション	
ポーションホルダー	

現在重量: 1
 最大重量: 15
 所持金: 540
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
グライアイ: ショットアイ	★	5	タイミング/セットアップ	-	自身	自動		
効果: 射撃攻撃の命中判定に+1Dする。ランド終了時まで持続								
サブライザル	5	4	メジャー	武器	単体	命中	隠密	
効果: 武器攻撃を行う。その攻撃判定の命中に+1D、ダメージに+[(SL) D]する								
サドンインパクト	★	9	サブライザル	-	自身	自動	シーン/1	
効果: サブライザルと同時に使用。その武器攻撃のダメージロールでは対象の【物理防御力】と【魔法防御力】を0とみなしてHPダメージ計算をする								
	1							
効果:								
ディスアピア	★	3	マイナー	-	自身	自動		
効果: 隠密状態になる ただし敵とエンゲージしている場合、このスキルは使用できない								
	1							
効果:								
バタフライダンス	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 回避判定+1D								
スペシャライズ: 弓	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 選択した武器の命中判定+S L ダメージに+S L								
コンシールアタック	3	-	パッシブ	-	自身	-	隠密	
効果: 攻撃の命中判定に+1D ダメージに[(S L) D]する								
アームズマスタリー: 弓	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 弓使用時 命中+1D								
トレーニング: 筋力	1		パッシブ					
効果: 筋力基本値+3								
ビジランテ	1		パッシブ					
効果: 隠密看破 感知+1D								
ブラフ	1							
効果: 騙すとき 精神+1D								

スペシャライズ: 弓 サブライザルLv2 コンシールアタック2
 所持金0スタート

グライアイ説明
 "フォモールの王"エラザンデルが封印されたとき、にわかに自我が解き放たれ、邪心の下を去ったフォモールがいたことはたしかである。そうしたフォモールは散り散りとなり、変異を隠して人の中にまぎれている。そのため、詳しいことは定かではない。

彼らの存在がわずかながら人に知られているのは、グランフェルデン北部にあるグライア谷の影響が大きい。谷のどこかに彼らの隠れ里があるという。かつて、妖魔の奇襲に遭い落ち延びたグランフェルデン王ハウゼンを、谷の者たちが救った。以来、グランフェルデンは谷のグライアイたちを庇護する約定をかわし、密偵として里の者を雇い入れるようになったという。この話が、どこからか広まって、グライア谷の転向フォモールたちの名前は知れ渡った。"グライアのものたち"を表すグライアイという呼称が、彼ら呼び表す一般名詞となったのである。グライア谷の存在は、これまで散在していると思われていたグライアイたちが、集団生活をしているケースを示唆している。事実、似た様な隠れ里が他にあり、他国とひそかな交渉を持っていると囁かれている。閉鎖的な里を出て、人間の王に雇われるグライアイは、一族の使命を負って忠実な密偵の役割を果たす。

キャラ設定
 神殿に仕えるグライアイの青年
 諜報や事務仕事の能力を買われ、神殿に仕える。
 両親が神官だったこともあり、神殿では表向き神官としても仕えている。

